

第22回照明フォーラム 委員企画

アンケート調査報告

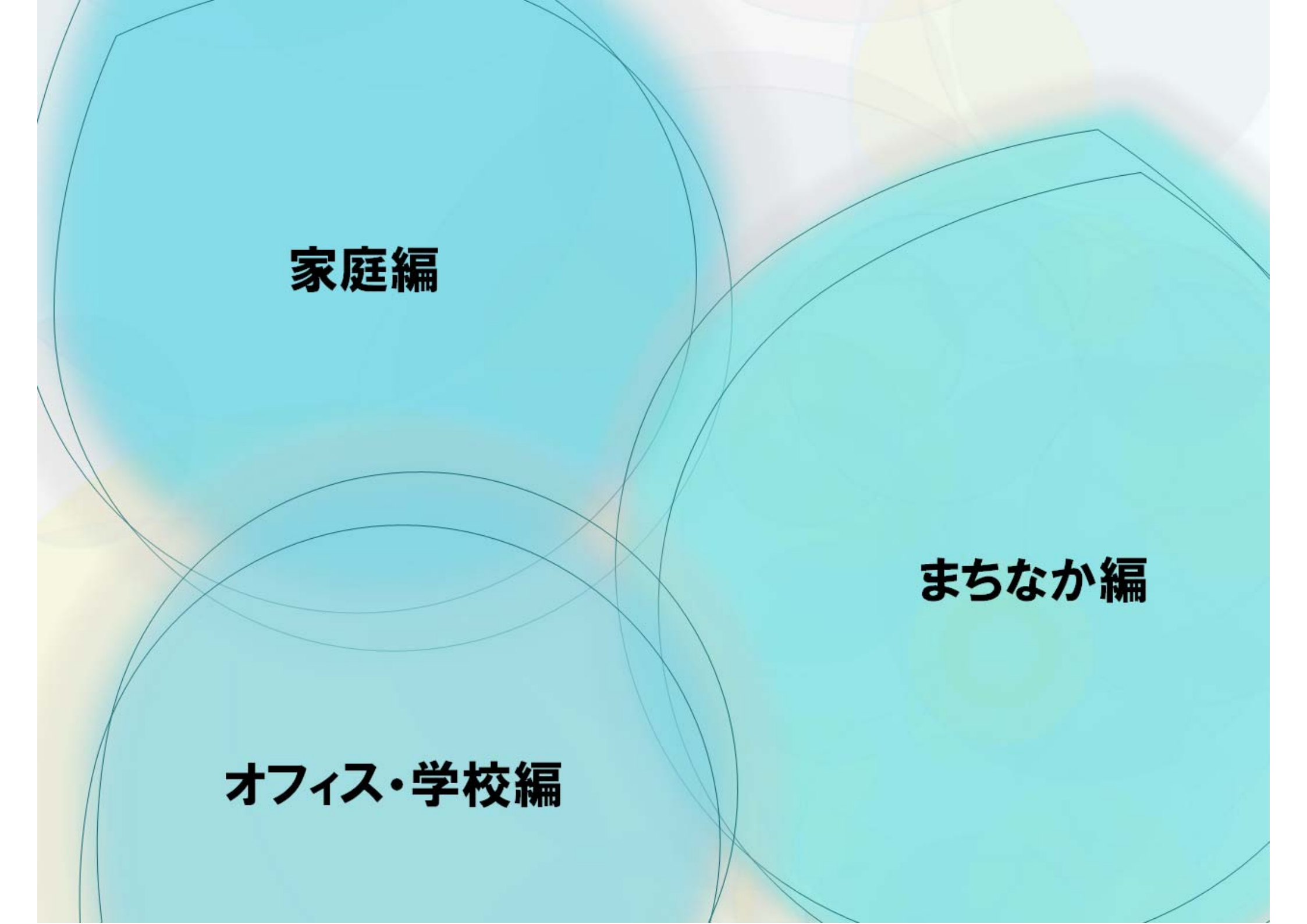
「節電による照明環境」

〔はじめに〕

平成23年3月の東日本大震災後の電力逼迫による夏場の節電環境は照明環境も大変厳しいものとなりました。

そこで7月に開催された照明学会東京支部スクーリング受講者(第31期生:約570名)の方に実態調査のアンケートご協力をいただき、そのまとめとして、11月の照明フォーラムはじめ技術セミナーにて本資料を報告致しました。

今なお電力不足は全国的な課題となりつつある中で、私たちの調査報告が、より良い照明環境の維持貢献に繋がれば幸いです。

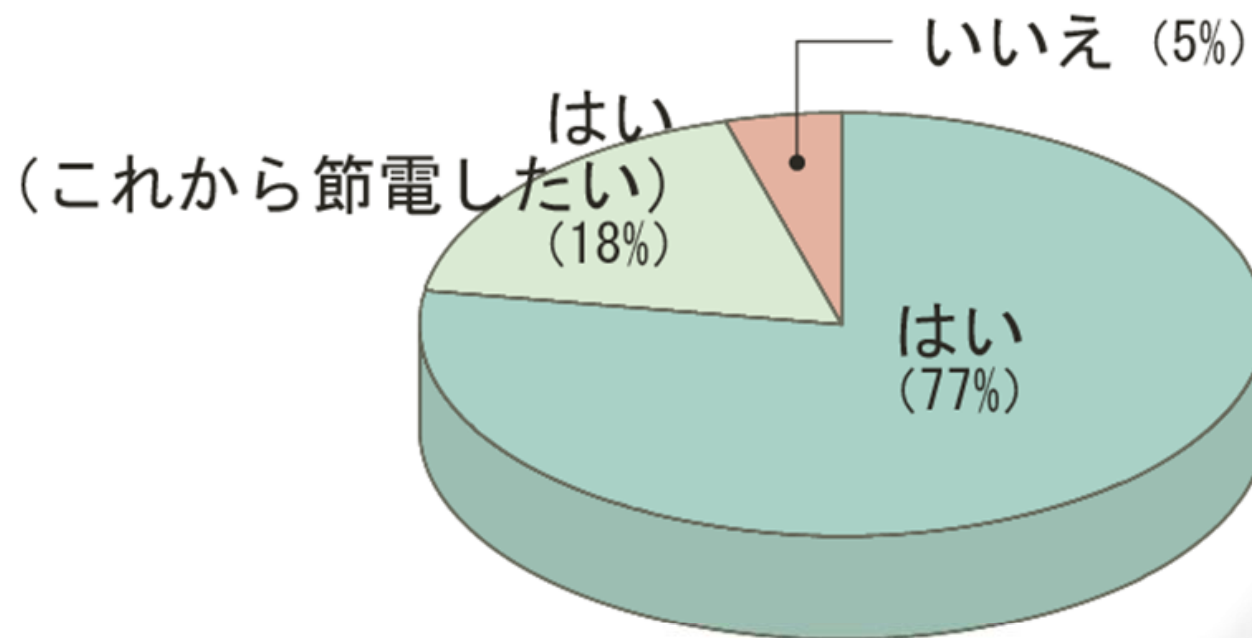
The background features a soft, warm gradient transitioning from light yellow at the top to light blue at the bottom. Overlaid on this are several large, thin-lined circles in various shades of blue and teal, some of which are semi-transparent, creating a layered, abstract effect.

家庭編

まちなか編

オフィス・学校編

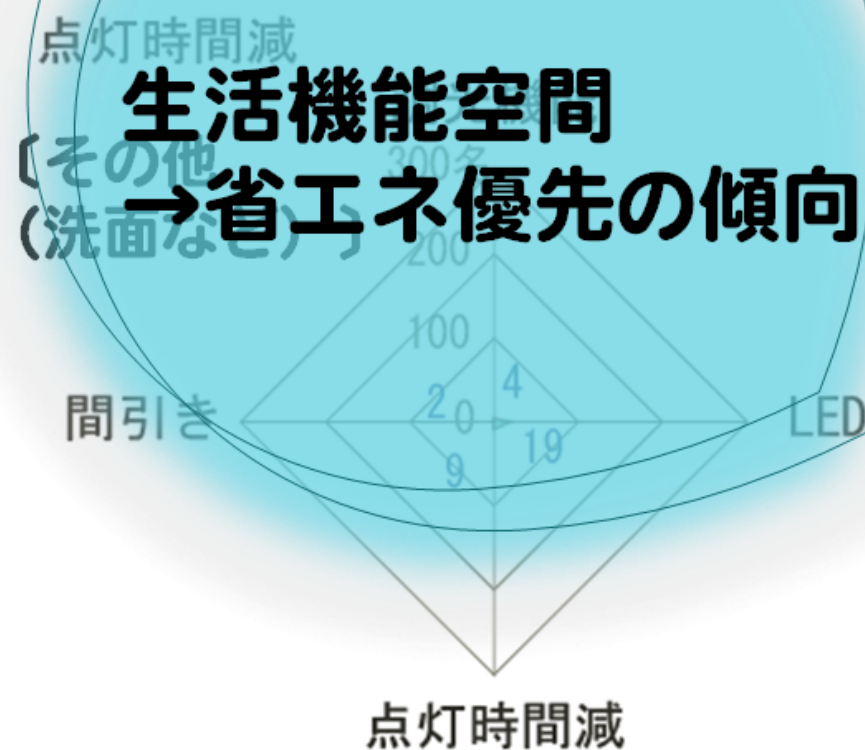
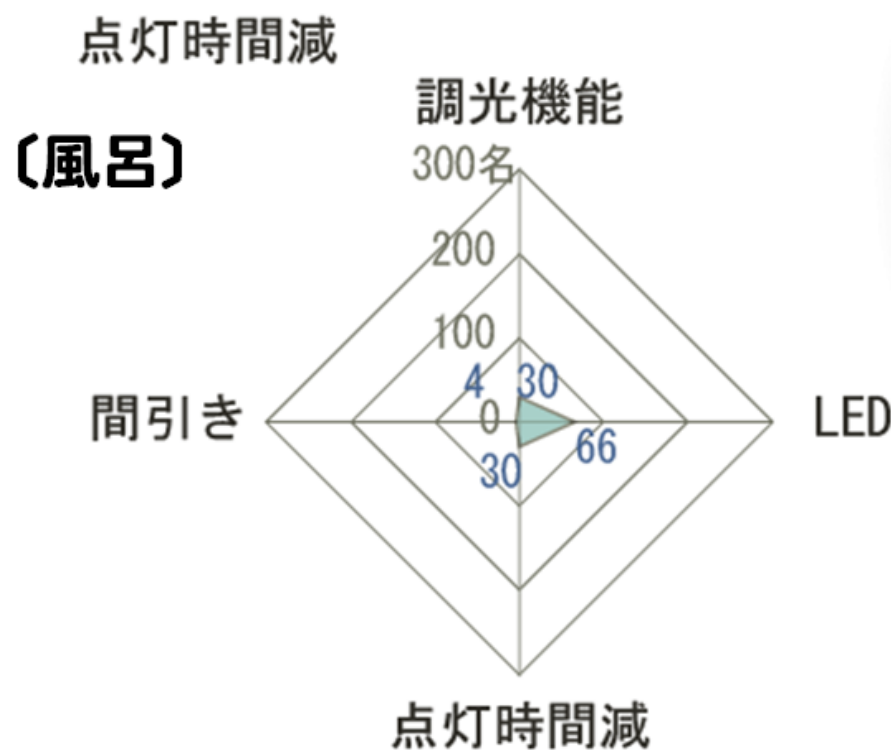
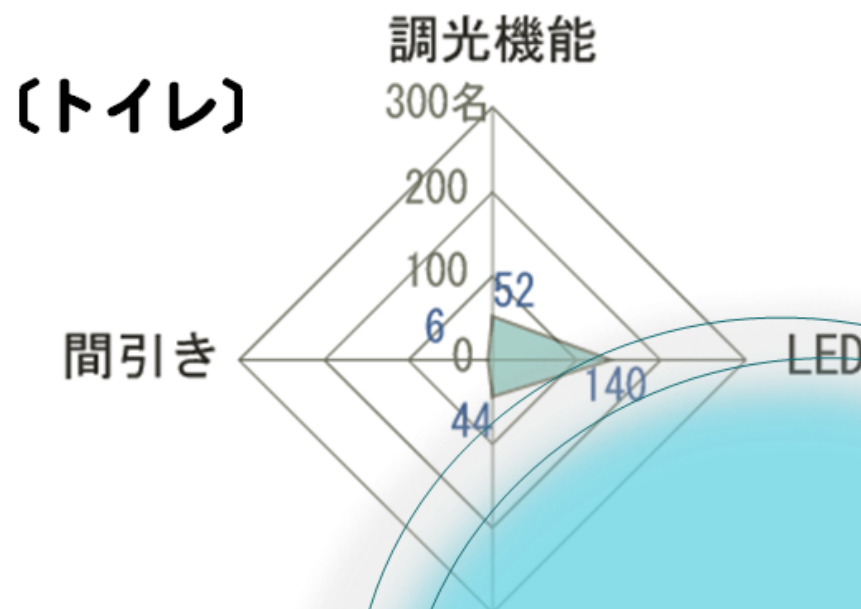
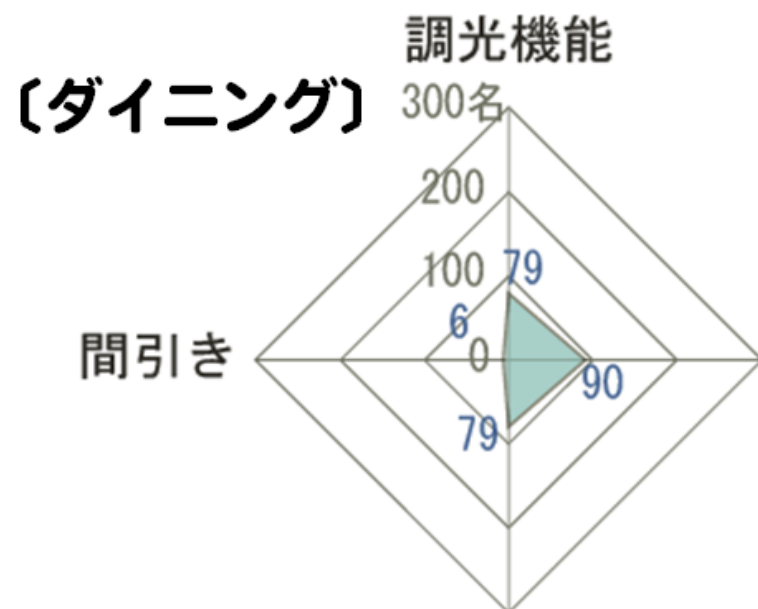
ご家庭で照明の節電を行っていますか？



**80%がすでに実行
20%はこれから**

LEDを用いた節電が多かった場所

家庭編



節電は快適ですか？今後も続けたいですか？

家庭編

快適
↑

↓
快適でない

以前に比べて快適

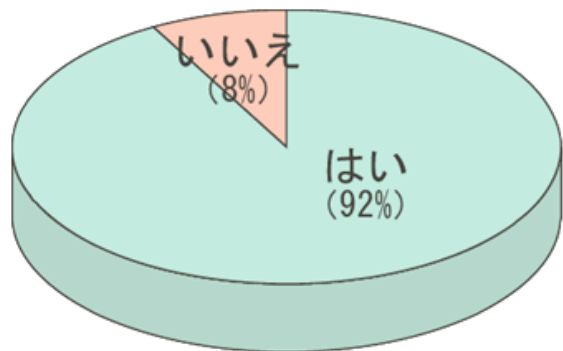
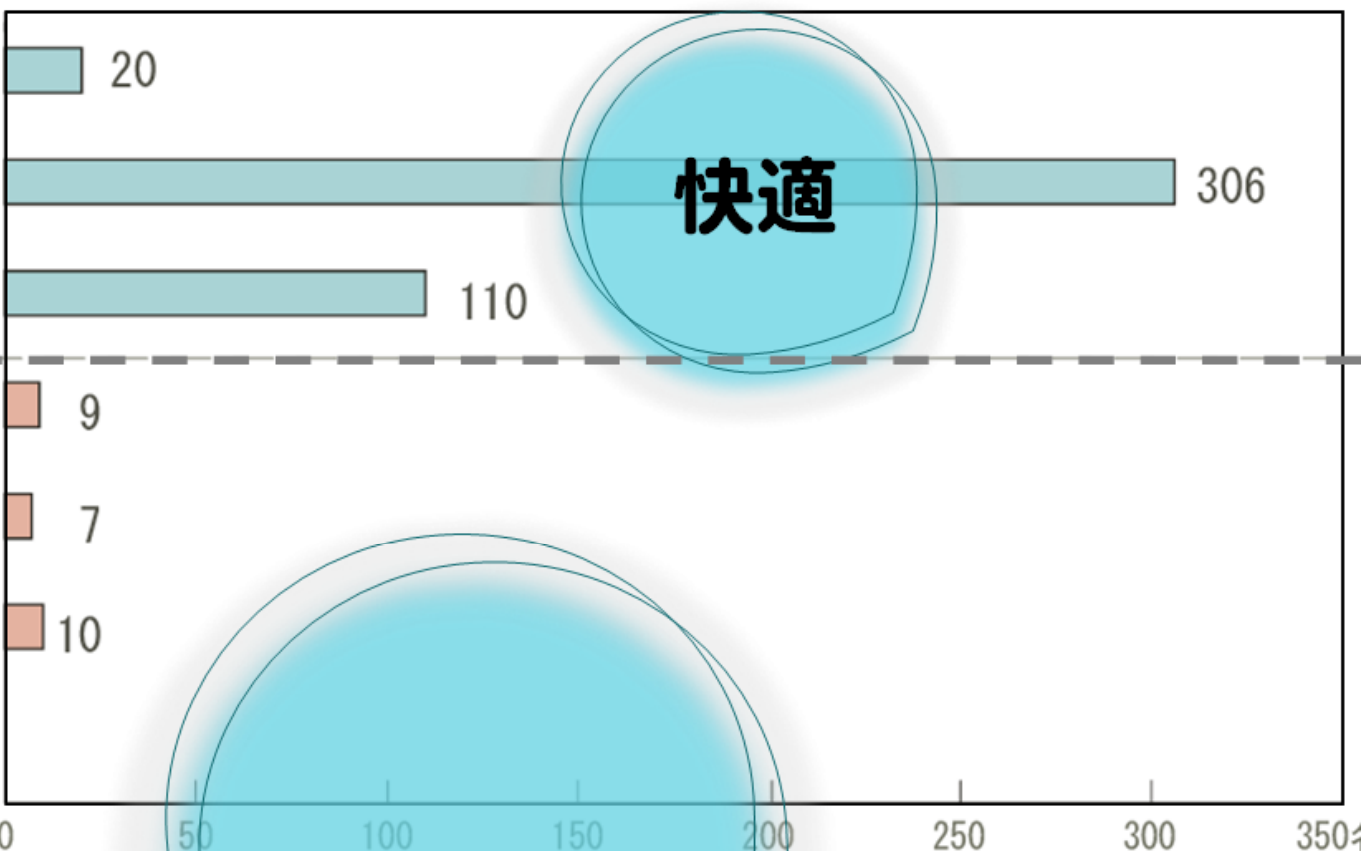
以前と変わらず快適

変化が気になるが快適

変化が気になり快適でない

快適でないので戻したい

その他



今後も続けたい

「こまめな消灯、必要時点灯」

「寝室では、シーリングライトを使わず、テーブルスタンド、フロアスタンド、ベッドサイドスタンドなど、必要なときだけ灯りを付けたい。」

**場所の特性に合わせた工夫
LEDに大きな関心**

「庭を人感センサー型LEDに変えた。」

「調光で暗くする。」

個人レベルでの節電の取り組みは多様、すでに**さまざまな努力**がなされている。

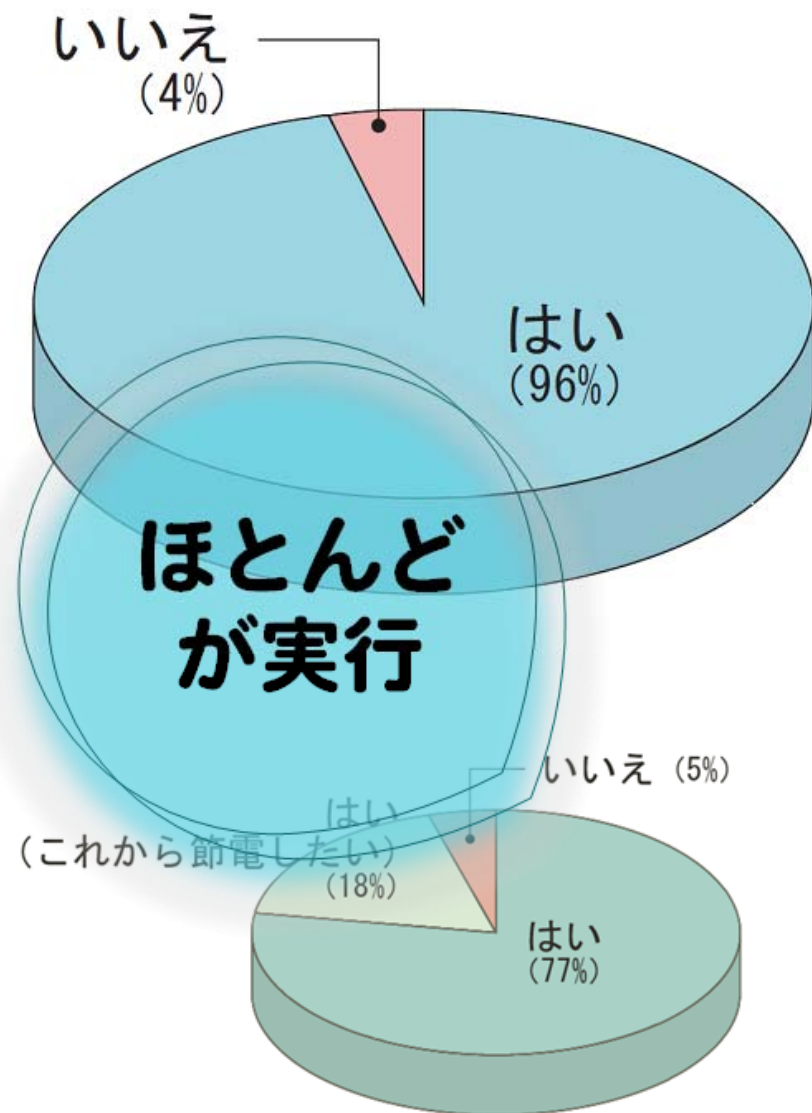
部屋ごとで、それぞれの**生活行為に応じた照明計画**が必要。

居住スペースの大きさ、家族構成、居住パターンに対して**照明の選択枝の幅**を広げたい。

工夫の方法としてどのような可能性があるのか、ソフト面において**きめ細やかな提案の発信**が望まれる。

現在、節電を行なっていますか？

オフィス・学校編



〔節電対象〕



照明での節電、どの手法を実施してますか？

オフィス・学校編



主な節電手法

1. 消灯
2. 省エネ型器具
3. 照明制御システム

消灯は、快適ですか？

オフィス・学校編



**取り入れやすいが
快適とは言い難い。**

**より良い手法を
模索する必要がある。**

目が疲れる 57

書類が読みにくい 85

頭がぼ

っとする 10

1

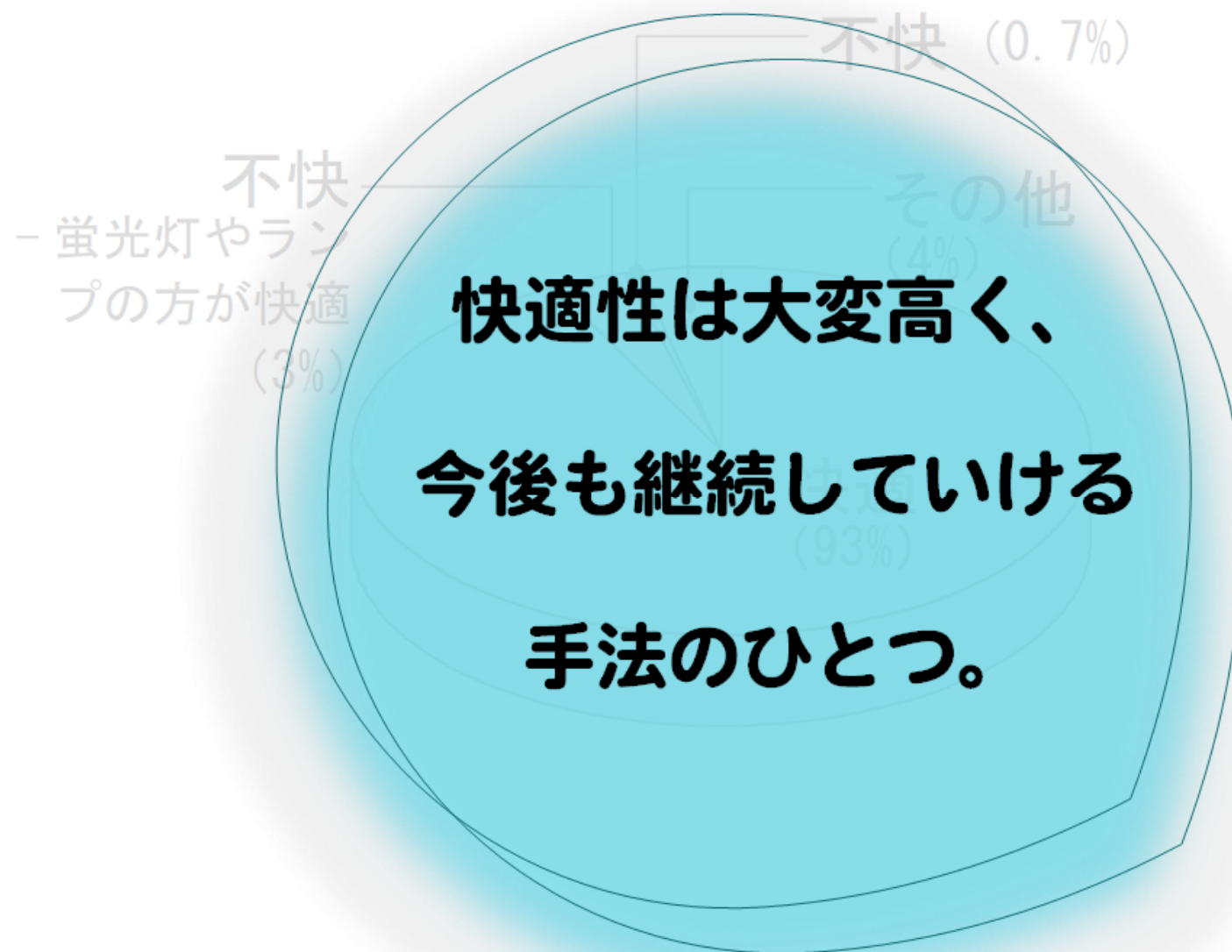
0

13 その他

60名 50 40 30 20 10 0 10 20 30 40 50 60名

リラックスできる 38

集中できる 34



照明制御システムは、快適ですか？

オフィス・学校編



消灯の場合よりも
不快と感じる方は少なく、

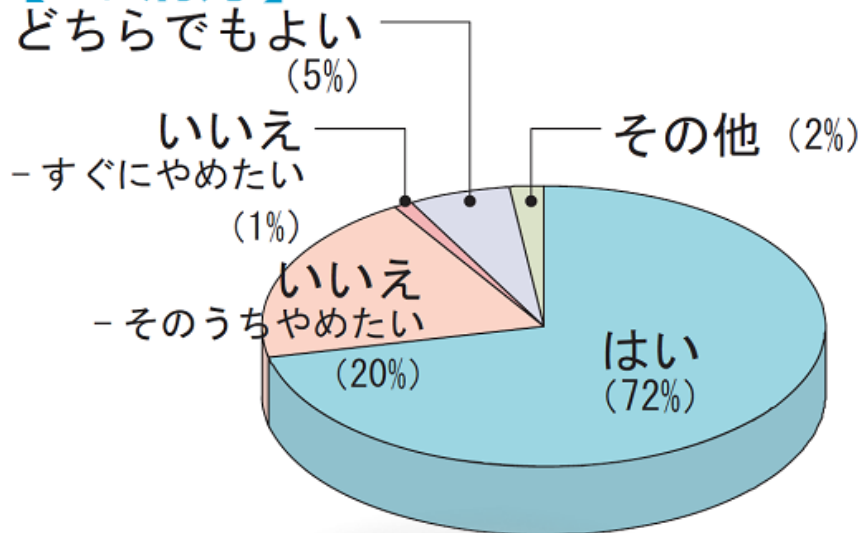
今後の更なる採用に
期待ができる手法。

60名 50 40 30 20 10 0 10 20 30 40 50 60名

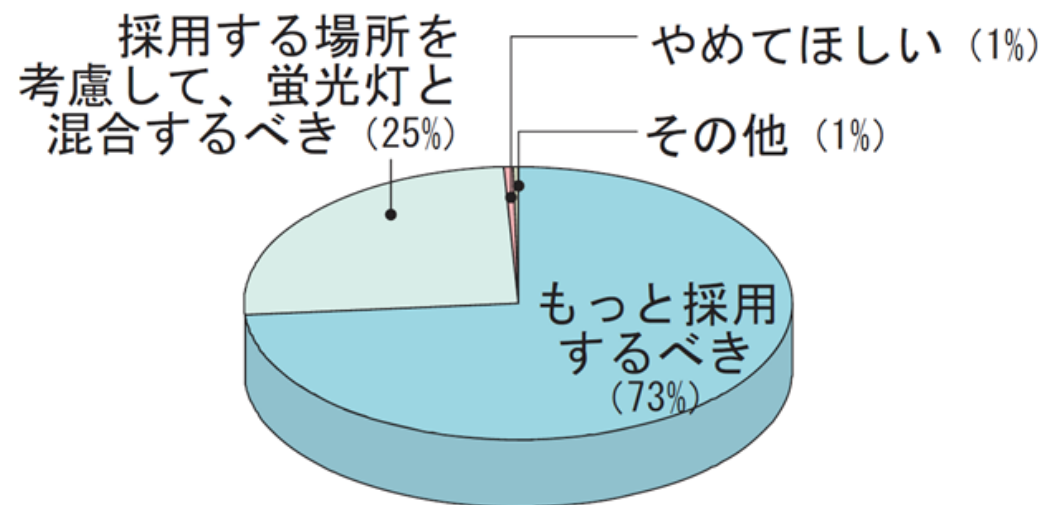
それぞれの節電手法の継続性について

オフィス・学校編

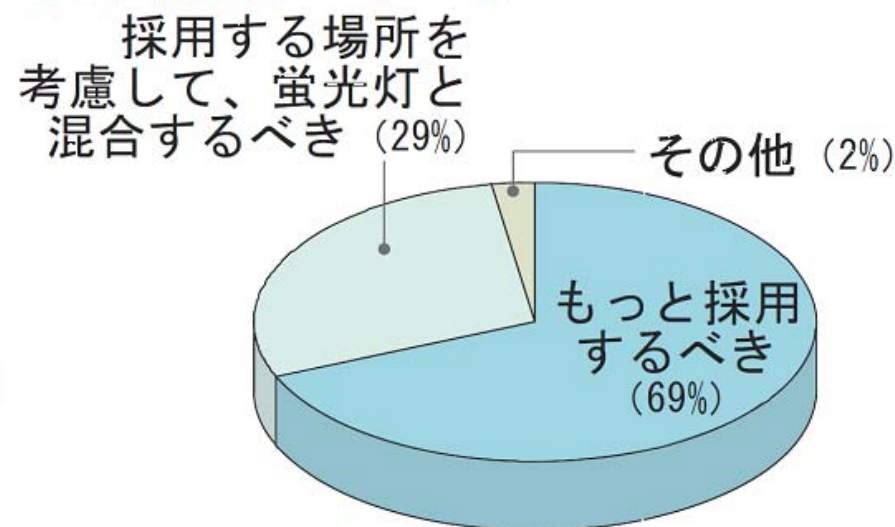
【1. 消灯】



【2. 省エネ型器具】

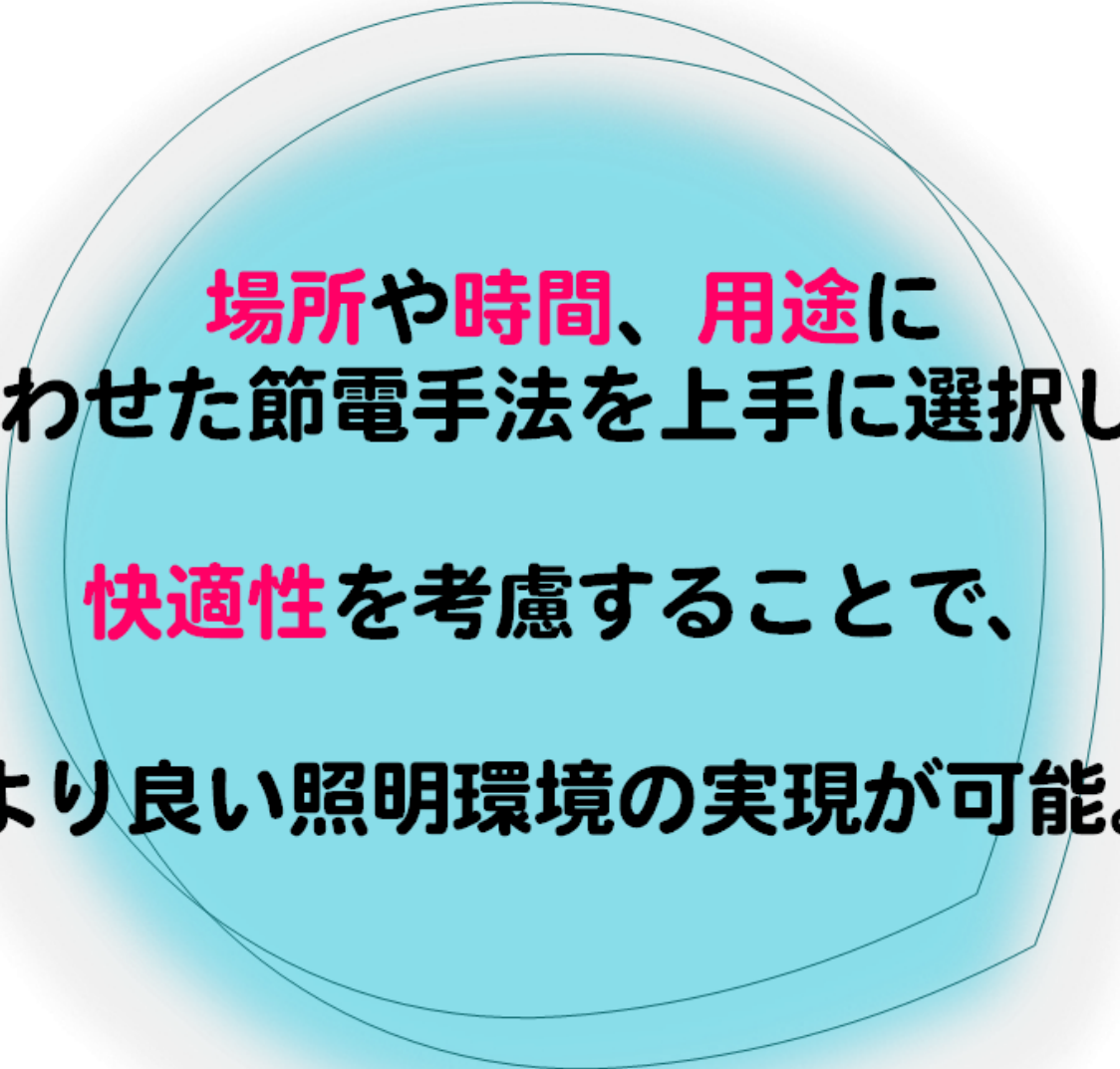


【3. 制御システム】



厳しい節電下で
継続の必要性を

感じている方が多数



**場所や時間、用途に
合わせた節電手法を上手に選択し、
快適性を考慮することで、
より良い照明環境の実現が可能。**

まちなかでの照明の節電環境について どのように感じますか？

まちなか編

もっと節電 が必要	まだ明る すぎる	不便に 感じない	その他
--------------	-------------	-------------	-----

← A を選んだ理由

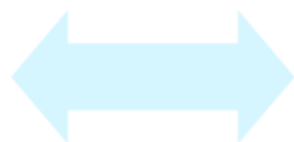
5 個の選択肢から
感じ方を回答

A. もっと節電すべ き	B. ちょうどよい	C. 適切な場所が選 択されていれば よい	D. 快適ではないが 我慢できる	E. 節電すべきでな い
--------------------	--------------	--------------------------------	------------------------	--------------------

E を選んだ理由→

不便だから	危険だから	気分や体調 を害するから	その他
-------	-------	-----------------	-----

節電環境に**肯定的**



節電環境に**否定的**

① 広告灯

- ・ 暗くて危険
- ・ 店が営業中か
わかりにくい

まだ明るすぎる

19%

53%

不便に感じない

25%

3%

節電に否定的が20%

快適ではないが
我慢できる

もっと節電すべき

広告灯が道路灯の代わり
広告灯は店の営業状況を表すサイン

8%

20%

2%

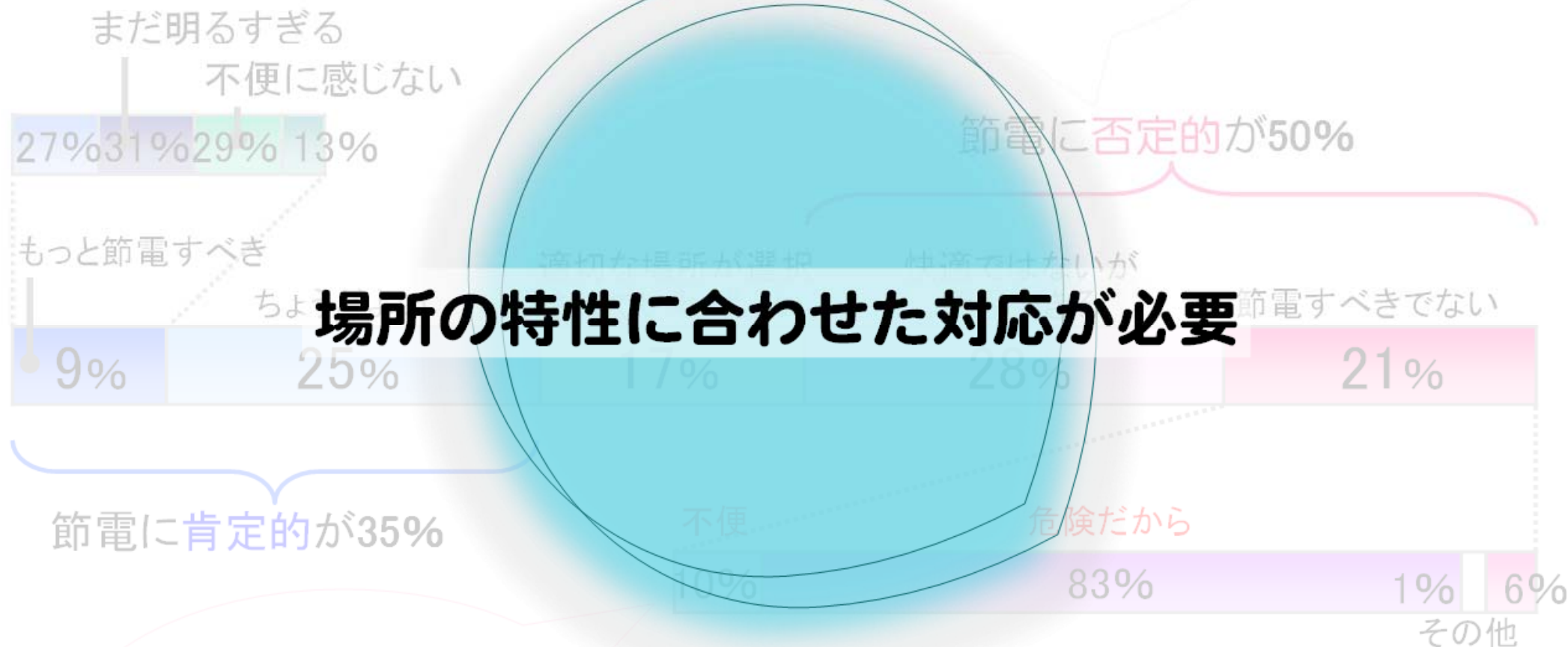
節電すべきでない

節電に肯定的が70%

まだ明るすぎる
不便に感じない

13% 49% 38%
不便 危険 その他

②街路灯



- ・暗すぎて前が見えない
- ・人通りが少ない所ほど怖い・治安が心配

公共機関

まちなか編

①車内照明

- ・夜間やトンネル時は点灯すべき
- ・ドア付近は外光との差がありすぎて危険



節電に否定的が35%



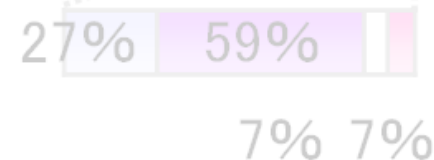
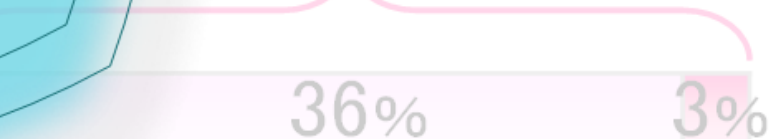
外部の明るさに対応した照明制御が必要
心理面や防犯にも配慮した節電

②ホームや通路



節電に肯定的が55%

節電に否定的が40%



海外と比べても日本は今まで明るすぎた・・・

今の明るさ（節電中）で十分だと思う。

一辺倒に節電するのでなく、**すべき所としない所を判断**する必要性。

求められている光

- ・安全、防犯、心理的な安心感に関わる光
- ・店舗では購買意欲をアップする光
- ・街の魅力や活気を損ねない節電

安全性と演出性に分けて設計すれば

すばらしい夜の風景が作れるのでは・・・

これからのヒカリとは

節電に対するさまざまな実践、人々の意識の高さ

ただ明るく照らすだけ、ただ消すだけ

これまでの照明環境への**気づき**・・・疑問

↓
わたしたちが明るくなれるヒカリへ

人々は照明環境が大きく変化していくことを実感、

この状況を受け入れ、さらなる変化を**求めている**

照明環境の変化 → 私たちの心を豊かにすることを期待